



移動式クレーン
オペレーター

大空に伸びるブームの先に 自分の未来を架ける

ランドスケープを創る

駅舎、鉄道、高層ホテル、庁舎、病院、金沢城など、街の象徴となる大きな建造物はたくさんあります。何もなかった空間に、それらが建ちあがっていく様子を見られるのは、歴史的瞬間に立ち会っているようで、毎回感動を覚えます。

学校を出て建設現場で働き始めた頃、巨大なクレーンを自在に操り、無線の指示だけで運転席から見えない高層階へ資材を正確に運ぶオペレーターを見て、「スゴイ技術だなー」っていつも羨望していました。

それから1年も経たない間に自分がクレーンの国家試験を受けるなんて思ってもいませんでした。幸い、学科試験に出る電気や力学については、高専時代に習い、ロボットやソーラーカーの研究をしていたので、特に難しくはありませんでしたが、実技に関してはクレーンの操作レバーなど初めて触れるものでしたから、操作を覚えるのにかなりとまどいました。

オンリーワンの技能

私が運転するラフテレーンクレーンは吊上げ荷重12tの小型クラス。それでもビル5階くらいの高さまで荷物を揚げることができます。どんな条件下でも、安全に指示通りの位置にピタリと移動するのがプロ。両手両足を使い、指先のレバーとアクセル操作で微妙な動きをコントロールします。

ワイヤーロープだけで吊るされた資材は、揺れると作業の遅れや事故につながりますから、国家試験に合格した後も猛練習しました。ドラム缶や角材など形状や重さが異なるさまざまな資材を吊り、悪天候でも揺れを抑える技術を身につけました。

建設現場には多くの職人さんがいますが、クレーンを操るのは自分一人。そんなプレッシャーも自分を成長させてくれるのかもしれない。腕を磨けば、さらに大きな仕事が続いている。そのためにも一つひとつの現場を大事にしていきたいですね。



城西運輸機工株式会社
クレーン事業部 金沢営業所 クレーンオペレーター

さいもん かずひと
才門 和仁 (23歳)

出身校：津幡町立津幡中学校、金沢工業高等専門学校

しかく わたしの資格

移動式クレーン運転士(国家資格)

移動式クレーン運転士になるには、国家試験に合格し、免許を取得しなければなりません。公道を走行するための大型特殊自動車免許や「玉掛け」という、吊り荷にワイヤーロープを正しく掛け外しするための資格も必要です。大型重機を操縦できる感動は計りしれませんよ。



取材協力

城西運輸機工株式会社

〒920-0211 金沢市湊4丁目70番地

Tel. 076-238-1313

URL <http://www.jousai.co.jp>

■代表者 代表取締役社長 操川 一郎

■設立 昭和45年

■従業員数 289名

県内外に30カ所の営業所を有し、クレーン・輸送・レンタル業を主な営業品目とし、豊富な車輛台数と高い技術力で常に躍進を遂げています。